

大
報

おおだて

1990年 1月 1日号

■編集と発行 大館市役所総務部企画調整課

— 住民登録 —

(12月1日現在)

人口・69,683人(+3)

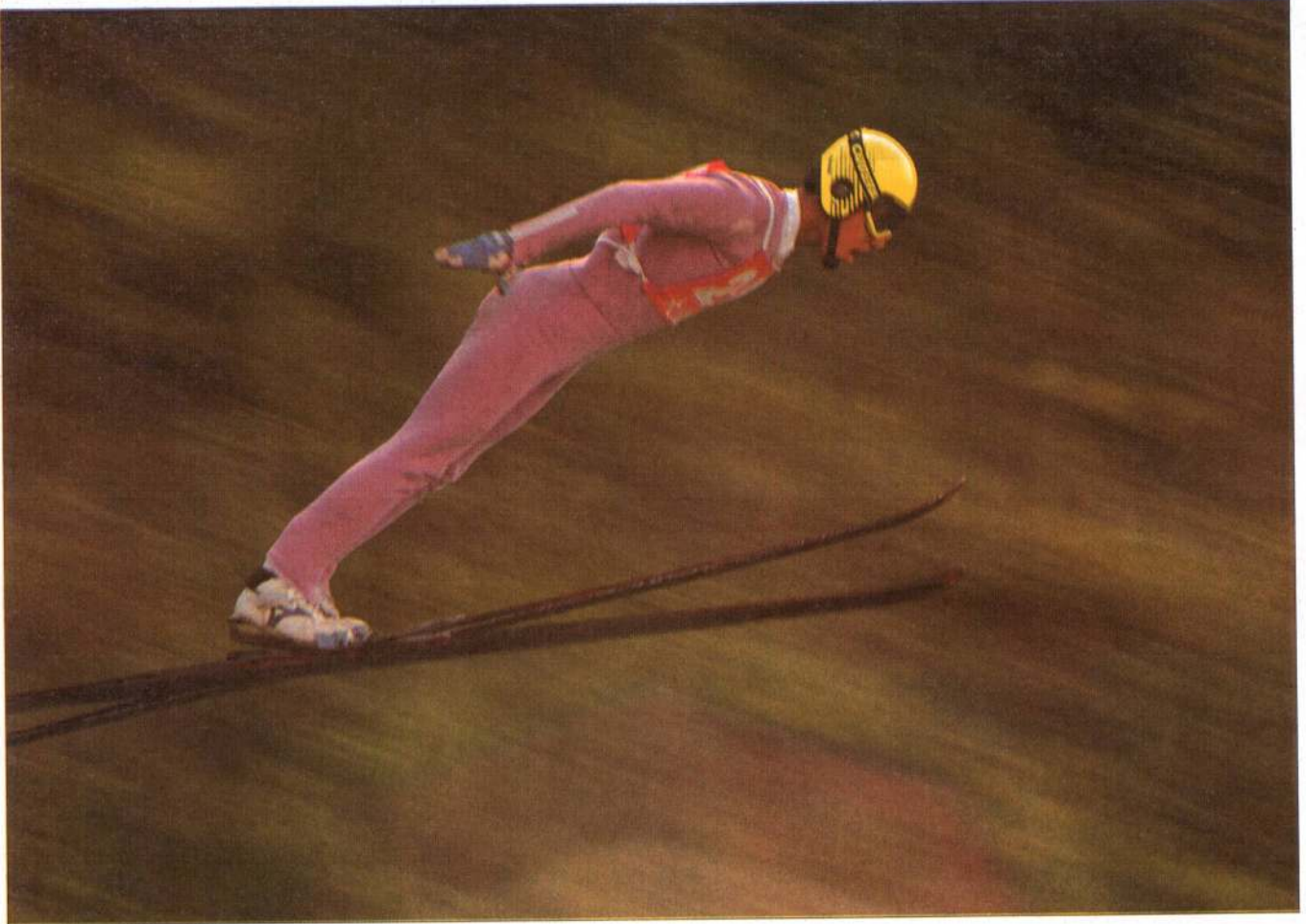
{ 男33,012

女36,671

世帯数・22,334世帯(+7)

()内は前月比

市の木・秋田杉 市の花・キク



飛翔

—— 創刊500号記念特集号 ——

あけまして
おめでとございます

市議会 議長

桜庭 亥之助



市長

畠山 健治郎



明けましておめでとございます。

二十世紀最後を飾る、九十年代の幕開けの年だけに、責任の大きさと緊張の高まりを覚えます。

今年最大の課題は、未来を起点とする向こう十年間の市の具体的な展望「第三次総合開発計画」を決定することです。

七万市民の計画の集大成、これが理想です。可能な限り理想に近付けるよう最善を尽くしますので、計画づくりへの積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

良い年でありますよう祈念申し上げます。

新年おめでとございます。

国内経済の好況は、今年も持続し、いざなぎ景気をしのぐ可能性も高まっているといわれています。

このような中で、市としても多くの懸案事項を抱えているところですが、議会としても行政との両輪の中で、その機能を発揮し、これらの実現を図るとともに、住民福祉の向上と、活力ある近代都市づくりを指標とし、市民の負託にこたえていきたいと考えています。

市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

市議会副議長

八木橋 雅孝

鳥潟 与四郎

大坂 谷比内

日景 比内

安田 友国

芳賀 忠行

伊藤 達一

佐藤 鶴

菅原 鶴

菅橋 大松

仲沢 大松

平泉 庄

助役

助役

Table of city officials including various departments like Health, Education, and Social Welfare, listing names and titles.

創刊500号特集

広報「おおだて」創刊からの歩みそして未来への飛翔

歴代市長が語る「おおだて」今昔



現大館市長

島山 健治郎

(昭和54年～)

昭和二十六年八月に産声を上げた広報「おおだて」も、今号で五百号を数えます。元且号と併せ、ひとつの節目の意味を込めて特集を組んでみました。特集第一弾は、歴代市長への広報についてのインタビュー。第二弾では広報の生い立ちからみる過去の出来事を。第三弾は、市民リポーターによる市民の目見た広報について、をお届けします。これからも広報をどうぞよろしくお願いします。

市長就任当時の思い出と、そのころの広報の印象はいかがでしたか
市長選に出馬するまではいろいろな事情がありましたし、就任してからは、自分の選択した道ですから責任の重大さを大変

感じました。庁内はもとより、どこへ行っても緊張の連続でしたが、周囲の温かい支援と時の流れが、それを解決してくれたように思います。

仕事柄広報に触れることは多かったのですが、印象としては、市民に親しみを持たれるとか、積極的に読みたいと思ってもらえるとかいうには、まだ十分ではなかったような気がしました。

広報の編集方針、広報作りへのアドバイスなどを聞かせてください。

市政の主人公は市民です。刻々と変化する市政の動きを、早く、正確に伝え、市民の声を市政に生かす。これは市政の原点であり、生命線とも言えることを考

えます。ですから、広報・広聴活動というのを、もつともっと市民と身近なもの、日常生活に溶け込めるようなものにするため、創意と工夫を怠ってはいけません。

常に市民本位を貫き通すこと。広報を見れば、そのまちの基本姿勢がうかがえるともいわれます。そのことを忘れてはならないでしょう。

広報への苦情や提言など、読者からの反応というのはいかがでしょう

特に反応というのはありませんね。まあ、それはまだ不十分だということでしょう。ただ、広報のつづり表紙は好評なようですから、広報への関心というか、期待みたいなものはうかがえるような気がします。

行政の歩みの中で、思い出を五つほどあげるとすればどんなところでしょう

何もかも毎日が深い思い出というところですが、五つと言われれば、まず清掃会社を複数化して公共料金を据え置いたこと

です。これは事件性があるとかないとかで騒がれました。次は郷土品まつりを復活させて十年郷土の良さを見直す機会が定着したこと。市制三十周年で新たな発展を誓い合えたこと。文化会館、長根山運動公園、長木川河川公園、図書館など、都市機能の整備が進んできたこと。そして木材、農業、鉱山といった地場産業が、構造不況に苦しんだことなどでしょうか。

現在の広報をどう思いますか。また今後はどうあるべきとお考えでしょうか

市民リポーターなど、広報の紙面に市民の参加を求めて、一生懸命だというのは喜ばしいことです。

ただ、親しまれる広報になればなるほど、当然のことながらそれに伴う課題も出てくるはず。現在の紙面、ページでは不足になってくるかもしれないが、そういったあたりのもも十分大切に考えながら、より好感を持たれる広報作りを心掛けて欲しいですね。

情報化時代が、人間疎外の時代になったのは大問題です。そうなることのないよう、行政そして広報が、きちんとその使命を果たしていかなければなりません。

第2代大館市長 石川 芳男氏

(昭和42年～昭和54年)



市長就任のころの思い出や
当時の広報についての印
象はいかがでしたか

昭和四十二年の四月二十八日の選挙で、幸いにも当選することができたんだけど、就任当時は選挙時の公約を早く実現することはいっぱいだったから、実は広報についてはあまり記憶が定かではないんです。もう二十二年にもなりますからねえ。今でも覚えていることは、これは内部の問題だけれども、市民のための市役所なんだから市民に親切にするようにということが第一。第二には能率を上げなくちやならんということ。よく役所仕事というのは能率が上がらない代表みたいに言われるもんだからね。三番目は、最小経費で最大の効果を上げる行政にしなければならぬということ。これらは職員に対する要望ということだったんですがね。

広報の役割についてはどう
お考えでしたか。また編
集についてのお考えは

行政に対して市民の理解を求
めて、その協力を願うというの
が一番大きな目的だし、そうい
う意味でやっぱり広報は大きな
役割を果たしたんじゃないかな。
新聞でも同じだけれど、まず
公正でなければならぬし、そ
して迅速でなくちゃいけない。
それから確実になければならぬ
い。そういったことを私は要望
していたように思うんですよ。

当時は総務課が広報を担当し
ていたんだけど、私は直接にア
ドバイスとかしなかった。信頼
してね。助役、総務課長、その
他担当者というわけだから。
苦情・好評・大ミスなど、
市民からの広報への反応
はどうでしたか

私に対しては広報についてう
んぬん言う人はいなかったです
ね。担当者へというのはあった
のかもしれないが。
市長当時の思い出に残った
仕事やエピソードなどを
聞かせてください

一番は何といっても花矢町と
の合併ですね。当時財政的には
非常に良かったんですよ。花矢町
は、鉱山が全盛時代でね。ここ
ろが、大館市は病院や水道の問
題があったりでね、決して魅力
ある合併とは言えないというよ



本桜などですな。

大文字はね、明治から百年、
近代日本の黎明を記念した事業
であったんだけど、大館の大
でもあるし将来の大にもつなが
るといことだね。それにお盆
の迎え火ということもあったし、
大火があったから火伏を祈ると
いう意味も込めてね、もちろん
大館の名物になるだろうという
気持ちもあったわけですよ。

現在の広報はいかがでしょ
うか。ご感想やご意見など
はありませんか

よくやってるなあと、これは
おべっかでなくそう思いますよ。
月一回だったでしよ前は。今は
月二回にしているね。月一回だ
つたらまだ五百回にならないは
ずだものね。

情報化時代と言われる今日
ですが、広報を含めて大
切なことは何でしょう

これはあなた方が専門だろう
けど、あえて言わせてもらえば、
情報というのは集めることも大
事だし、これを伝えることも大
事。だから両面でね、十分気を
つけなければいんじゃないかと、
当たり前のことだけれども。
一番怖いのは間違った情報に
基づいて行動を起こすこと。大
東亜戦争だってそうでしょう。
正確な情報を幅広く収集して、
それを正確に伝達するというこ
とが重要だと思いますよ。

創刊500号特集



初代大館市長

佐藤 敬治氏

(昭和26年～昭和42年)

創刊当時の市長ですが、
創刊のいきさつなどは
いかがでしたか

昭和二十六年八月創刊？そんな
に早くから作ってたかなあ。
ずいぶん早いな。だれが書いて
たんだろう。

あのころはあちこちの市や町
で広報が始めてね、それに刺
激されたんじゃないかな。やつ
ぱりね、民主主義の時代だから
教えることが大切だというのが
あって、どこの市町村でも広報
作るような感じだったなあ。あ
ちこちから取り寄せて作ったん
じゃないかな。それにしても早
いね、就任してすぐだもの。

広報の役割や当時の編集
方針などはどういうふう
だったのでしょうか

どのぐらい広報は市政のプロ
パガンダ(宣伝)に役立ったもん
だかな。内容をみてみないと分

からないね、もう。

編集方針とか言われてもあん
まり記憶にないな。何か書けと
言われたらちよっと書いてたぐ
らいじゃなかったのかな。なに
しろ、広報活動とは何をするの
か。こういうことからPRしな
ければならなかったんだよ。様
式も新聞みたいだったしね。

市制施行のころの思い出、
大館市の昔のころのお話

を聞かせてください

水害を思い出すな。あれは二
十六年の七月だよ。あのころは
水害が起きてねえ。もう上流か
ら橋が順々に流れてきて、それ
がまた橋にひっかかってその橋
を流すんだよ。一年に二回ぐら
い橋をかけたこともなかったか
な。みんな木造の橋なもんだか
ら腐ってくるし、そのうえに洪
水だからすぐ流れちゃうんだ。
最初のは思い出すな。市長にな
ってすぐだし、生まれて初めて
建設省ちゆうとこへ陳情に行っ
たんだよ。(笑)

国体スキーもあったね。当時
冬の交通っていうのは全く閉ざ
されててね、こっちでノルディ
ック、大湯でアルペンなんだけ
ど、離れた会場をどうやって結
ぶかてえらい問題になった。そ
れまでは汽車しかなかったんだ
から。その時に初めてブルドー
ザーで道をつけて車を走らした
んだけど、意外とうまくいって

速かに災害復舊



ね、あれから一気に冬季交通革
命みたいのが起きて、今みたい
に車が走るようになったんだよ。
あれがきっかけだった。花輪へ
車でなんて夢のようだったんだ。

あと火事だなあ。それとそ
の後の火災復興、あれは苦労し
た。合併も話題になったし、病
院の移転、国保、区画整理、上
水道もそう、あれも大変だった
なあ。上水道で水が出た時はう
れしかった。シューワと大噴水
のように出てね。たでもう少し早
くできてれば東駅前の火事に間
に合ったのに、ちよっと遅かった。

総じて言えば、戦後の混乱期
から高度経済成長の直前までが
任期だった。一番の混乱期で、
自分の任期中というのは目も当
てられない状況だったよ。戦後
処理と火災復興、何を作るにも
あらゆるものが配給制だったか
ら容易じゃなかった。学校の六
三制もあってね、あれが当時の
自治体財政を圧迫した最大の原

因だな。これまでの古びた学校
を直すだけでも苦しいのに、新
たにもう一つ新制中学校を建て
なきゃならなかったものなあ。
今の広報はいかがでしょう

また、今後の広報はどう
あるべきでしょうか

最近のはあまり目を通してな
いけど、情報化時代にあつて、
広報というのは非常に大切だし、
大事になるんじゃないの。市と
家庭を結びような、しかも多元
的に発展させていくようなこと
が。いろんな情報がある中で、
どれが本場でどれが偽物かを選
別して、これはこう、あれはこ
うだと教えられるようなね。
情報が多くなるにつれて広報
は大事になるけれども、世間の
情報化時代に遅れをとれば何の
役にも立たなくなるから、大い
に勉強する必要があるんじゃない
かな。市政の中で市民と市を
結ぶ最大のものだろうから、よ
り細やかな情報提供というのも
必要になるだろう。

こんな出来事ありました



約39年間にわたって、皆さんにお送りしてきた広報「おおだて」。そのときどきの、様々な記事が載ってます。それらの中からほんのちよっとだけ拾ってみました。ミニ年表も載せましたので、昔を思い出しながらご覧ください。

県内第二の都市に

昭和二十六年四月一日、大館町と釈迦内村が解体合併して、大館市が誕生しました。人口三万五十六人、世帯数五千三百六十一と、日本で最も小さい市の誕生でした。広報の創刊が同年八月二十日ですから、このことは広報には載っていません。

合併の記事が広報に登場したのは、三十年四月号が最初です。三十年三月一日日付で、長木上川沿、下川沿、真中、二井田の五村を、三十一日には十二所町を編入合併。人口五万六千七百七人、世帯数九千九百十三で、秋田市、能代市に次いで県内第三の都市となりました。このときの広報は、「人口五万の新大館——春と共に華々しく発足」という見出しで、合併の協定事項や一町五村の紹介をしています。次に合併の記事が載ったのは、石川市政がスタートした直後の四十二年十一月号です。一ページ目の見出しは、「新しい歴史の創造へ——十二月二十一日花矢町編入による新大館市がスタート」。四ページ組の紙面中、二ページにわたって合併までの歩みなどを報じています。この合併により大館市は、人口七万八千七百五十四人、世帯数一万八千五百五十七

となり、能代市を抜いて県内第二の都市になりました。いつの合併でも、住民からの賛成論、反対論がありました。特に、花矢町合併のときの町を二分しての論戦が続いたことを記憶している人は少なくないでしょう。そのころの様子を、当時花矢町議会議員であった湊寅之助さん（神山・七十三歳）に伺ってみました。



湊さん

「四十二年十一月十日の午前一時ころと記憶しています。前日から臨時町議会が開催され、合併について審議していたのですが、反対派議員十一人が退場してしまつたので、私を含めた賛成派議員十三人で強行採決に持ち込んだんです。結果は当然十三対零で可決されました。鉾山隆盛の時代でしたので、大館市と合併する必要はない」というのが反対意見の主だったものですが、私は町の将来を考えると合併は不可決と判断したんです。今でも、あのときの判断は間違っていないかと確信しています。」

創刊 500号 年表

昭和26年8月～

47	46	43	42	41	40	38	37	36	35	33	31	30	29	28	26
年3月	年8月	年8月	年10月	年10月	年2月	年6月	年3月	年10月	年3月	年3月	年8月	年7月	年1月	年2月	年4月
水道事業第1期拡張工事完成	公設卸売市場完成	市立病院・中道間に22メートル道路開通	御成町2丁目大火(焼失棟数263)	鳳凰山大火(焼失棟数263)	市が「秋田杉」に決定	花矢町を編入合併	鳳凰山大火(焼失棟数263)	鳳凰山大火(焼失棟数263)	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転	市役所を旧庁舎(現秋北ホテル地)から移転

36年国体(会場:鳳鳴高校) 競技(会場:鳳鳴高校)

大火と

復興の歴史

「まさか四度の大火が発生するとは——過去三回の苦い経験をした私たち市民は、だれしもそう思ったに違いありません」これは、四十三年十一月号の書き出しです。

市の歴史を振り返るとき、やはり四度の大火(年表参照)とその復興は忘れることができません。大火は「思い出したくない出来事」かもしれませんが、決して忘れてはならない歴史の一ページなのです。

四十三年十一月号は、「私たちはこの四度目を最後に、大火の歴史に終止符をうたなければならぬ」と結んでいます。



▶山田敬蔵選手のポストンマラソン優勝を祝し市内をパレード

数多くのスポーツ大会を開催

これまでの広報をひもとくと、明るく楽しい話題もたくさん載っています。その中からスポーツの話題を拾ってみました。何といっても、最初に挙げられるものは、二十八年の「山田敬蔵選手優勝」でしょう。山田さんの快挙は戦後の混乱期にあった市民に、やる気と勇気を与えてくれました。

キリヨネン、イモネン、この二人も忘れることはできません。そうです。三十三年の国際スキージャンプ大会に米市したフィンランドの選手です。このとき、二人の勇姿を一目見ようと長根山ジャンプエへ詰めかけた人は、なんと六万人といえますから、当時の市民の熱狂ぶりがかがえます。市民が「主役」となった大会もあります。二十八年の冬季国体スキー大会、三十六年の秋田国体、五十九年は秋田インターハイ、そして六十年の全県中学校総体がそれです。スポーツ関係者はもちろん、婦人会や小・高・高生がひとり一役運動を

展開。「成功は市民総参加のたまもの」(三十六年十二月号)——この見出しが全てを物語っているのではないのでしょうか。市体育協会会長の浅野福造さん(有浦四丁目・七十歳)は、これらの大会を全てみてこられた一人です。コメントをいただきました。



浅野さん

「大館ではこれまで、数多くの大会が開かれています。それらの中で『一番印象に残るものは?』と聞かれたら『六十年に開かれた全県中学校総体』とこたえるでしょう。なぜなら、それまで秋田市でしか開催されていなかったこの大会を、大館市民みんなの熱意と努力で誘致できたからです。全県中学校総体の新しい歴史の始まり、と言ってもよい出来事でした。これからもいろいろな大会誘致のため、市民の皆さんに頑張ってくださいたいと思います。大会が開催されることで、市民のスポーツ意識が高まるでしょうし、地域経済の活性化にもつながります。しかし、そのためには、やはり大型体育館が必要となります。一日も早い建設をお願いしたいと思います。」

163	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	48
年11月	年3月	年1月	年6月	年8月	年3月	年3月	年3月	年11月	年7月	年10月	年4月	年3月
・大館西道路着工	・「小さな親切」実践都市を宣言	・中央公民館完成	・「日中友好親善の集い」開催	・秋田県中学校総合体育大会開催	・中央図書館完成	・市の花に「キク」を指定	・環境浄化都市を宣言	・第1回大館市産業祭開催	・長根山野球場オープン	・上水道第2期拡張工事完成	・松峰町内集団移転完了	・国道7号大館バイパス有浦・市役所間開通
・大館西道路着工	・「小さな親切」実践都市を宣言	・中央公民館完成	・「日中友好親善の集い」開催	・秋田県中学校総合体育大会開催	・中央図書館完成	・市の花に「キク」を指定	・環境浄化都市を宣言	・第1回大館市産業祭開催	・長根山野球場オープン	・上水道第2期拡張工事完成	・松峰町内集団移転完了	・国道7号大館バイパス有浦・市役所間開通



再建されたハチ公銅像(左)と里帰りしたハチ公(はく製)が対面



長根山展望台から運動公園を望む

広報市民リポーターだより

広報創刊500号を記念して、平成元年度の広報市民リポーターに、今後広報に望むことや今感じていることなど、市民の目から見た広報について書いてもらいました。

がんばれ大館 がんばれ広報

小笠原 渉

本年度、市民リポーターとして広報制作に参加させていただきましたが、関係する方々の努力に驚かされるとともに、これだけマスコミが発達している時代とはいえ、月二回、限られた紙面で広報というのを作ることの難しさを感じさせられました。「これからの広報について」少しだけ書かせていただきます。

まず、市民全員に知ってもらいたい記事はもちろんですが、自分(たち)で好きなことに熱中し、がんばっている人(たち)なども紹介して欲しいと思います。「へえ、そういうことやってがんばってるの!」とか、「いつかよ自分も何かがんばってやってみるか」というふうな気持ちにさせてくれる人(たち)を載せて欲しいのです。次に、いろんな年齢の方々による、大館の良さを紹介した文などを載せたらおもしろい。良いところを探すのが大変になるかもしれませんが、結論的に言わせていただければ、大館もしくは大館人の、悪いところなどは他のマスコミに任せておいて、広報では良いところ、素晴らしいところという

小笠原 渉リポーター

(長木川南)



のを伝えて欲しいんです。「大館はいいところだぞ!」「大館の人たちは、みんないい人ばかりなんだぞ!」といった感じでね。

もつと広報を

読んで!!

佐々木 幸子

私がリポーターになって最初にしたこと、これまでの「リポーターだより」を全部読み返したことです。どれもこれも、大変すばらしいレポートでした。その結果教えられたこと、それは、「リポーターである前に、読者であることを忘れてはならない」ということでした。文章ばかりを書くよりも、写真やカット、それにグラフなんかを使い

佐々木幸子リポーター

(赤石沢)



ながら紹介したほうが、読者にとっては、わかりやすいことでしょう。それに、読者が知りたことは何かを考えてリポートすれば、おのずと内容も良くなると思ったわけです。

先日、ゴミ焼却場を見学してきました。燃えるゴミに金くずなどを入れる人がいるため、焼却炉などの設備が故障し、修理に年間八千万円の費用がかかるということでした。一部の私たちのルール違反で、私たちの納めた税金がムダに使われるかと思うと、本当に腹が立ちました。

広報には、市民が共同生活を送るために必要な様々なルールが載っています。広報をちゃんと読んで、それらのルールを知っておくことが大切ではないでしょうか。私たちの税金が、有

滝沢武雄リポーター

(大滝)



効に使われるためにも、**より親しまれる**

広報にするために

滝沢 武雄

新年、そして広報創刊五百号おめでとうございます。昭和二十六年八月に第一号を発刊以来、市民に親しまれる広報を目指し、努力してこられた担当の方々は、大変な苦勞をされたことと思います。心から感謝申し上げます。

さて、私なりに、広報「おおだて」について考えてみました。年々市民に親まれるように改良されてきていますので、広報に望むところは、ほとんど(九五%)ありません。しかし、より良い(残りの五%)を埋める)広

報とするためには、次のようなことが大切だと思います。

それは、「まち興し」などの市の長期的な事業計画の内容についてや、市の重点事項とその対策などの記事を、詳しく掲載することです。これらのことを広報するということは、市民と行政との信頼関係を一層深めることになり、市民の合意を得やすくなるのではないのでしょうか。

次号の発行から、考えてみてください。

女子職員を

広報スタッフに

本多 カナ子

不安に思いながら市民リポーターを引き受けたのが、昨年の



本多カナ子リポーター

(餌釣)

六月でした。七カ月がたった今、リポーターとしての責任の重さを痛感しています。何とかこ

こまでやってこれたのは、家族や友達、広報担当者のおかげだと思っています。

記念すべき広報「おおだて」創刊五百号の編集に参加することができ、たいへん喜んでいきます。昭和二十六年から約三十九年間続けられてきた広報、市政と市民とを結ぶ重要な役割を果たしてきました。情報化時代を迎え、今後広報の果たす役割はますます重要になっていくと思います。

毎月二回、一日号と十六日号の広報を、欠かさず、遅れずに発行している担当職員には、頭が下がります。でも、この中に女子職員の姿がないことが残念です。これから、広報のスタッフに女



虹川博司リポーター

(櫃崎)

子職員を加えてみてはどうでしょうか。今まで気付かなかった部分も見えてくるかもしれません。

市民リポーターとして、広報の編集に携わり、いろいろなことを勉強させてもらいました。これからは、違う角度から広報を見ることができると思います。広報担当者の活躍を期待していきます。

年に一度は

市民参加の広報を

虹川 博司

今回市民リポーターとして、広報というものについて、あるいは市行政などについて勉強させていただきましたが、あらためて広報の重要さを認識させら



柳沢トキ子リポーター

(釈迦内字中台)

れたと思います。これまでは、正直なところ家に広報が届いても、軽い気持ちで目を通すだけでした。しかし、リポーターになったこともあってじっくり見るようになる、私たち市民にとって直接に、間接に、関係のある事柄がいつばいなに驚いてしまいました。

月に二回の広報を、すみずみまで読むことがなかなかできない、できなかったというのには私だけでしょうか。確かに広報にはおもしろおかしいことが書かれてはいるわけはありません。テレビの番組案内が載っているわけでもありません。けれども広報の役割をもう一度考えてみると、大館市が市民へ、今何をやってますよ、これから何々をしますよと知らせることが一番の役割だと思います。「広報」と名前がついている以上、その役割が変わることはないでしょう。

そうした中でふと思うのは、毎回というのは無理でしょうが、年に一度でも市民が作る広報、市民が参加できる広報、こういうのがあってもおもしろいのではないかなということでは

広報つてなーに

柳沢 トキ子

広報とは、いったい何でしょうか。辞書で調べてみると、「広く人々に知らせること」と載っていました。

広報「おおだて」には、行政報告や市内の行事、その他たくさん情報が載っています。それに、月二回の広報を楽しみに待っている人がたくさんいます。この二つの点からでも分かるように、広報「おおだて」は、広報としての役割を十分に果たしていると思います。でも、もっと市民に親しまれる広報にするためには、それだけでは足りないのでは、市民リポーターが生まれたのだと思います。

今後は、市民リポーターを決めずに、市民から自由にリポートを出してもらい、その中からいいものを広報に載せてはどうでしょうか。そうすることによって、各町内の特産品や自慢話なども登場するでしょうから、私たちが今まで知らなかった「大館」を発見できると思います。よその町の人から、「大館市ってどんな所？」って聞かれたときに、大いに自慢できるよう、そんな話題も広報には、必要ではないでしょうか。



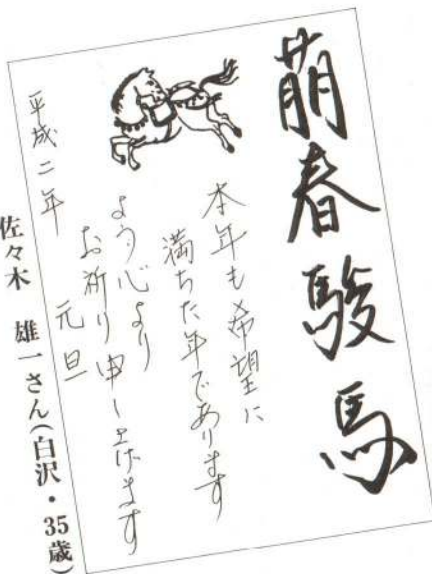


山口 有希さん(常盤木町・13歳)

今年もよろしく

私の年賀状

今年の干支(午年)にちなんだ「ユニークで楽しい手作り年賀状」を広報統計係で募集したところ、市民のみなさんからたくさん作品が寄せられましたのでご紹介します。



佐々木 雄一さん(白沢・35歳)



若松 愛世さん(桜町・9歳)



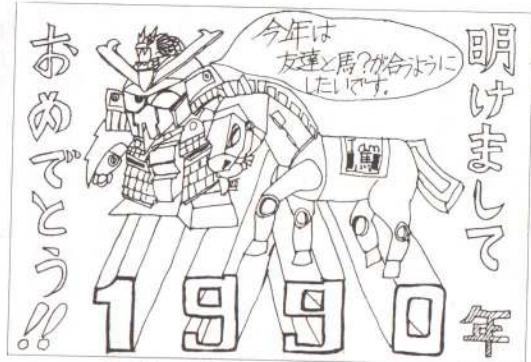
斎藤 初美さん(柄沢字狐台・13歳)



明石 多吉さん(陣場・63歳)



山口 梨沙さん(常盤木町・11歳)



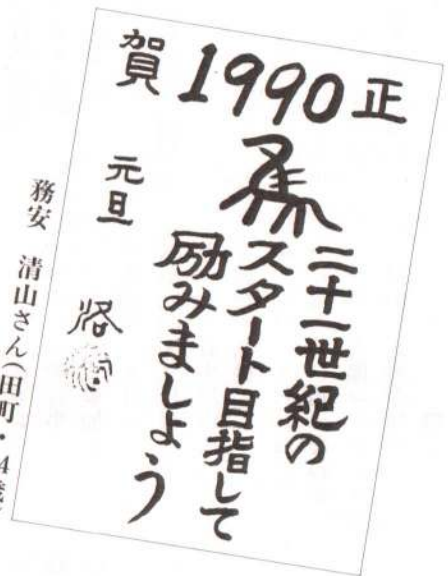
斎藤 拓嗣さん(柄沢字狐台・11歳)



成田 レイさん(東台・57歳)



山口 真美さん(常盤木町・7歳)



務安 清山さん(田町・64歳)



明石 京子さん(陣場・56歳)



長内 久子さん(橋桁・27歳)



お知らせ

働きなから学ぶ

定時制生徒募集

県立大館東高等学校では、平成二年度の定時制への推薦入学者を募集します。

願書提出・1月19日(水)23日正午
面接日・1月26日(金)

※中学校卒業予定の人は中学校長、働いている人は職場長の推薦が必要です。

申し込み及び問い合わせ

県立大館東高等学校

☎48-6006

秋田県観光写真コンクール

コンクール

県と県観光連盟では、「魅力あふれる秋田」を撮影した写真を募集します。奮ってご応募ください。

テーマ

○秋田の四季の自然風景

○秋田の民俗行事・芸能

○秋田の生活・産業

＜応募方法等＞

(1)応募資格、応募点数に制限はありません。

(2)平成元年以降に撮影したもの。(未発表のものに限る)

(3)サイズは、リバーサルフィルムの場合には三十五ミリ以上、カラープリントの場合には四つ

切り。

(4)応募票(市観光物産課に備え付け)に所要事項を記入し、作品と一緒に送りください。

(5)リバーサルフィルムは、マウントにも題名、住所、氏名を記入してください。

(6)入賞作品は返却しません。(締め切り)

9月30日(日)当日消印有効

＜応募先及び問い合わせ＞

〒010 秋田市山王4丁目1-1
県観光課内「秋田県観光写真コンクール係」

☎0188-602266

ハチ公雪像コンクール



ハチ公雪像コンクールはアメリ

ッコ市の協賛行事です。お気軽

にグループで参加してください。

作成期間・2月5日～9日

展示期間・2月11日～12日

ところ・長木川市民広場

参加費・無料

締め切り・1月19日(金)

申し込み及び問い合わせ

ハチ公雪像コンクール実行委

員会(労働金庫内)

☎42-6464

婦人会館

定期講座受講生募集

▽水泳教室 (全10回)

とき・1月10日～3月14日

毎週水曜日10時～12時

対象・50歳以上

▽アートフラワー教室(全10回)

とき・1月11日～3月15日

毎週木曜日13時～15時

▽手芸教室 (全10回)

とき・1月12日～3月16日

毎週金曜日13時～15時

▽シルバー体操教室(全10回)

とき・1月13日～3月17日

毎週土曜日10時～12時

▽駆け込み料理教室(全10回)

とき・1月12日～3月16日

毎週金曜日10時～12時

▽卓球教室 (全10回)

とき・1月16日～3月20日

毎週火曜日13時～15時

▽保健体操教室 (全10回)

とき・1月16日～3月20日

▽編み物教室 (全10回)

とき・1月17日～3月28日

毎週火曜日10時～12時

▽太極拳教室 (全8回)

とき・1月22日～3月19日

毎週水曜日10時～12時

▽電気の上手な使い方と簡単な修理実習

とき・1月16日(火)

10時～12時

※定員は各二十人、定員になり次第締め切ります。また、教材費は実費負担です。

申し込み及び問い合わせ

婦人会館 ☎49-7028

水道設備修理当番店

月日	当番店	電話番号
1/1	アンゼン設備	49-5411
	マコト設備工業	49-3525
2	大館桂工業	49-1331
	ヒカリ商事	43-0716
3	巽工業所	42-2906
	東北電気工事	42-2714
4	田中工業所	42-3050
	多賀谷鉄工	49-4858
5	古家燃料	42-2426
	古沢総業	42-2088
6	アンゼン設備	49-5411
	木次谷設備	52-3126
7	大館桂工業	49-1331
	三政建設	49-3696

入園のご案内

市立幼稚園と市立保育園では、平成2年度の園児を次のとおり受け付けしています。

◆市立幼稚園 (締め切り・1月15日)

桂城幼稚園 ☎42-0690

4歳児 120人・5歳児 若干名

花岡幼稚園 ☎46-1206

4歳児 80人・5歳児 若干名

白沢幼稚園 ☎46-1339

4歳児 40人・5歳児 若干名

※入園ご希望の人は、直接希望する園へお申し込みください。

◆市立保育園

(受付期間・1月5日～25日)

城南保育園 ☎42-1806 150人

有浦保育園 ☎42-1149 100人

釈迦内保育園 ☎48-2231 45人

十二所保育園 ☎52-2172 60人

感恩講乳児保育園 ☎42-5130

3歳未満児 60人

※入園ご希望の人は、市福祉事務所(内線209)へお申し込みください。十二所・釈迦内保育園は、直接園でも受け付けしています。また、現在入園している人で、2年度も引き続き入園を希望する人もお申し込みください。

お済みですか

児童手当の申請

児童手当は、義務教育就学前の子供を含む十八歳未満の子供を二人以上育てている人に支給されます。ただし、前年の収入が一定額を超える人は除かれます。

▽児童手当の額

・二人目の子供 月額2、500円

・三人目以後の子供 一人につき月額5、000円

児童手当は申請しないと受けることができませんので、該当すると思われる人は、お早目に手続きをしてください。なお、児童手当の支給は、申請のあった翌月分からとなります。

申請及び問い合わせ
市福祉事務所(内線209)

1月6日は 消防出初め式



8時30分

・無火災祈願

大館神明社

9時20分

・観開式

大町商店街

9時30分

・まとい振り
・分列行進

10時・消防出初め式 文化会館

◆交通規制 8時30分～10時

◆全面通行止め 大町中央通り

◆片側交通規制 大館神明社

◆町交差点▼馬喰町▼裏町▼桜町

※当日は7時30分に、消防団員の召集と火災予防を呼びかけるサイレンを鳴らします。

1月の各種相談日

法律・5日、18日

9時30分～12時30分

※事前に市民生活課(内線214)へお申し込みください。

交通事故・9日、16日、23日

10時～15時

家庭教育・8日、22日、29日

9時～16時

社会保険・5日、10日、17日、24日、31日

10時～15時

国税・25日

10時～16時

国会場

家庭教育相談はサンアピリテ

イズ大館、その他は市役所

会議室です。

国民年金・厚生年金が 引き上げられました

国民年金と厚生年金の年金額が、平成元年四月にさかのぼって引き上げられることになりました。

国民年金受給者の場合は、四月から十一月までの年金を合算した額が、二月十五日に支払われます。厚生年金受給者には、四月から十月までの差額と十一月、十二月、一月分の年金を合算した額が、二月一日(郵便局の現金支払いは十三日)に支払われますので、お間違いないようにしてください。

市民の善意

▽福祉事務所扱

三澤みつるさん(釈迦内字中台) 3万円

奈良ノリ子さん(道日本) 5万円

同友 5万円

▽老人ホーム扱い

富田歌謡教室

理容組合大館支部

千川流貴光会

林業後継者連絡協議会

クリスマスツリー

▽教育委員会扱い

伊藤喜信さん(有浦3丁目) 図書

藤島省平さん(長倉) 作品展示用パネル

市民スキー大会の ご案内

とき・2月4日(日)

8時30分 開会式

9時30分 競技開始

ところ・道目木スキー場

資格・小学校4年生以上及び市内に勤務している人

種目・距離、リレー、大回転

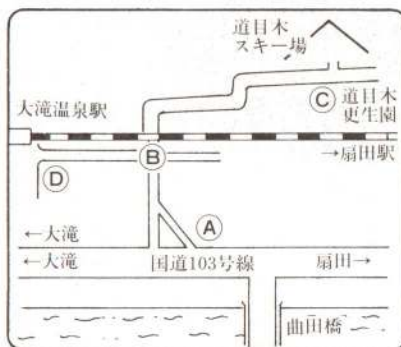
締め切り・1月17日(水)正午

申し込み及び問い合わせ

市体育課 ☎42-0310

◆お願い◆

会場周辺の道路は非常に狭いため、大会当日は時間制の一方通行となります。(地図参照)・7時～9時30分 A↓B↓C・大会終了後 C↓B↓D
また、駐車場には許可された車しか駐車できませんので、一般車での来場は遠慮ください。



市内にあるスキー場の電話番号は次のとおりです。

●大館スキー場☎49-0262
●花岡スキー場☎46-3099

●道目木スキー場☎52-2577
●達子森スキー場☎42-6978

保健婦だより

22

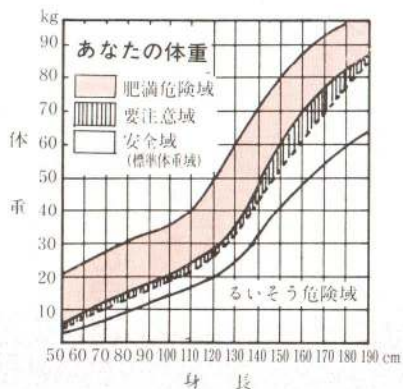
太りすぎを防ごう

正月は、おせち料理やお餅はもちろん、新年会などもあって、何かと食べたり飲んだりする機会が多くなります。でも、太りすぎには注意してくださいね。

肥満と病気の関係

肥満の主な原因は、食べすぎと運動不足です。太りすぎると内臓に負担がかかり、さまざまな障害を引き起こすことから、肥満は「成人病の温床」といわれています。太ってからの考えるよりも、ふだんから体重のチェックをし、規則正しい食生活を身に付け、標準(理想)体重の維持を心がけましょう。

標準体重を出し方
〔身長(センチ)ー100〕
×0.9=標準体重(キロ)



標準体重を中心前後10%
×0.9=標準体重(キロ)

の範囲を一応の「めやす」として下さい。

肥満を招く食べ方、心当たりのない?

- ① よくかまないで、ガツガツ食べる。
- ② おなかいっぱい食べないと気がすまない。
- ③ 食べながらテレビを見たり新聞を読む。
- ④ 食事の時間が不規則。
- ⑤ 朝食や昼食をよく抜き、夕食にまとめ食いをする。
- ⑥ 手近に甘い物などを置き、つまみ食いをする。
- ⑦ 酒を飲むといつも食べすぎる
- ⑧ 週末はゴロゴロ寝て食べてばかりいる。

ごはんに換算すると
(ごはん1杯...160キロカロリー)

食品	キロカロリー	ごはんに換算する量
コーラ(250ml)	96	0.6杯
缶コーヒー(250ml)	112	0.7
日本酒(1合)	200	1.3
ビール(633ml)	250	1.6
かけうどん	264	1.7
カレーライス	744	4.6
ラーメン	496	3.1
ハンバーガー	256	1.6

以上事項の一つでも当てはまる人は、注意が必要です。

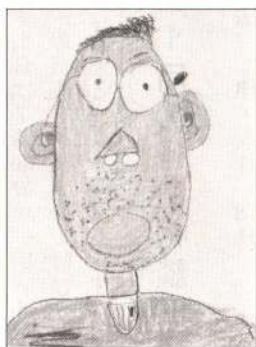
1月10日は「110番の日」

ためらわず勇気を持って通報を!

ちびっ子ギャラリ

おとうさん

桂城幼稚園



しみず かずひろくん
おとうさんもぼくも
しょうきがだいすき。



とみなみ しょうくん
やきゅうゲームでし
ょうぶしようよ。



なかた しゆんくん
いっしょにつみきて
おうちをつくるんだ。

110番は、皆さんの身近で事件事故が発生したときに、一刻も早く警察へ通報するための「緊急ダイヤル」です。県内のどこから電話しても、秋田市の県警本部につながり、そこから現場近くの警察署やパトカーに指令が出され、警察官が現場に急行します。

110番の通報が早ければ早いほど警察官が現場へ到着する時間が短くなり、犯人逮捕がスムーズに行き、事件を未然に防ぐことができます。

110番をするときは、落ち着いて次のことについて正確に話してください。

- ① 何が起こったのか：けんかや交通事故、強盗など
 - ② 時間と場所は
 - ③ どういう状況か：ケガ人など
 - ④ 犯人について：現場にいるか、逃走したか、人数、人相、逃走方向など
- 皆さんのすばやい110番が事件を解決し、大きな事故を防ぐことができます。事件、事故に遭ったり、見たりしたときは、ためらわずに勇気を持って通報をお願いします。